

和歌山県教育センター学びの丘 広報誌

まなぶだより



学びの丘イメージキャラクター
まなぶ

「令和の日本型学校教育」の実現を目指して 教育センター学びの丘 所長 福田 孝

現代は先行きが不透明で、将来の予測が困難な「VUCA」の時代と言われています。

令和5年6月に閣議決定された第4期教育振興基本計画では、教育基本法を普遍的な使命としつつ、変化を続ける新たな時代の要請を取り入れていく「不易流行」の考え方を基に、「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」の2つを、2040年以降の社会を見据えた教育政策のコンセプトとして掲げています。このような中、私たち教育関係者には、「令和の日本型学校教育」の構築を目指し、全てのこどもたちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けた取組を推進し、教育の質を一層向上させることが求められています。また、GIGAスクール構想についても新たなフェーズに入り、第2期では、ICT技術の更なる活用やより高度な教育コンテンツの導入が期待されています。

当センターにおいても、教職員の皆さんが自らの専門性を向上させることができるよう、皆さんのよき伴走者となるために学び続けながら、次年度も研修の充実、研究の推進に職員一同、全力で取り組んで参ります。



教師の主体的な学びを支援する ～オンデマンド研修動画～

変化を前向きに受け止め、探究心をもちつつ自律的に学ぶという教師の主体的な姿勢が求められる中、教育センター学びの丘では、時間や場所に制限されずに学ぶことができるコンテンツとして、オンデマンド研修動画を作成しています。

現在、5つのオンデマンド研修動画があり、県下の先生方にご活用いただいているところですが、次年度、新たに次の3つの研修動画を追加予定です。こちらも是非ご活用ください。

教師集団がお互いの成長を促す効果的なリフレクションについて理解を深め、今求められる教師の成長について学ぶ講義動画

スクール・コンプライアンスについて理解を深め、危機管理能力の向上を図るとともに、信頼される学校組織の在り方について考えを深める講義動画

認知行動療法の専門的な知見を通して、様々な課題を抱える児童生徒の理解と支援の在り方について、理解を深めるとともに、適切な関わり方について学ぶ講義動画

『オススメまなび動画』

○校内研修シリーズ No.127

よりよい授業づくりのための

“新しい”教科書の使い方-小学校編-

～独立行政法人教職員支援機構 動画教材～



教科書とは何か、学習指導要領とのつながり、新しい教科書の特徴等について知ることができます。動画の中で紹介されている「“新しい”教科書の使い方」資料を活用することで、授業の準備、授業中、まとめ、授業後といった各場面における教科書の効果的な使い方等について学びを深めることができます。是非ご覧ください。



令和6年度和歌山県教育センター学びの丘研究報告会

令和6年度学びの丘研究報告会を1月31日（金）に開催しました。昨年度に引き続き、オンライン配信による平日開催としました。

前半は、和歌山大学教職大学院 豊田 充崇 教授を迎え、「GIGA スクール第二期で目指す『個別最適な学び』の実現に向けた授業観・学習観の転換」と題して講演していただきました。

豊田教授は、指導の個別化と学習の個性化を学習者視点から整理した概念である「個別最適な学び」を、ICTを活用して、どのように実現するかについてお話をしてくださいました。実際の事例等も多くご紹介いただき、大変分かりやすく示唆に富むお話でした。

後半は、学びの丘研修員が、所属校での実践を含む1年間の取組を報告書にまとめ、研究の成果と課題について報告しました。

【講演】

GIGA スクール第二期で目指す「個別最適な学び」の実現に向けた
授業観・学習観の転換 和歌山大学教育学部 教職大学院
教授 豊田 充崇 氏

【研修員研究報告】

- 「検証計画の立案」に着目した中学校理科授業の実践
有田市立有和中学校 教諭 北山 寛貴
- 複式学級における算数科の単元内自由進度学習
ー主体的に学ぶ児童の姿を目指してー
湯浅町立山田小学校 教諭 前田 敏志
- 小学校国語科における説明的な文章を正確に理解する力の育成
ー系統的な学習計画の作成を通してー
上富田町立市ノ瀬小学校 教諭 岩本 知磨
- 生徒が自ら学びに向かう社会科の授業づくり
ー個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指してー
古座川町立明神中学校 教諭 仲本 裕一

研究成果につきましては、学びの丘ウェブページ「研修員研究集録」に掲載します。

どちらもご参加ありがとうございました。



学びセッション ～ つながり、学び合い、支え合う“語りの場” ～



学びセッションとは、放課後にオンラインで自由に参加いただくことができる、県内の教職員同士がつながり、学び合い、支え合う「語りの場」として、今年度から当センターが実施している取組です。放課後の時間帯に30～40分程度、本県の教職員が、地域を越えて気軽につながることができるきっかけとなるものとして企画しました。

各回ごとに設定されたテーマに基づき、様々な情報や悩みなどを共有ができる機会であり、また、対話を重ねることで、自身や自校の取組についての新たな発見といった、豊かな気づきが得られる機会にもなれると思っています。

外部講師や学びの丘指導主事による講義・演習等はありませんが、テーマに応じて、個人や学校全体での学びにつながるようなコンテンツを紹介しています。

参加者からは、「興味深いテーマばかりです。普段、なかなかこのようなテーマで語れる場がないので、情報を交流する場があることがありがたいです。」などのご感想をいただいています。次年度以降も、いただいたご意見を参考にしながらテーマ設定を行い、引き続き、自由な「語りの場」を創出したいと思います。

今年度実践した各回のテーマ

- 【第1回】校内研修について語り合しましょう！
～ どうつくりますか？ 3学期の「教師の学び」 ～
- 【第2回】個別最適な学び・協働的な学びをどう実現しますか？
～ 小中高特、各校種における学びの姿とは ～
- 【第3回】いっしょに考えましょう！校内業務の一工夫
～ みんながちょっとよくなるアイデアは？ ～